

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



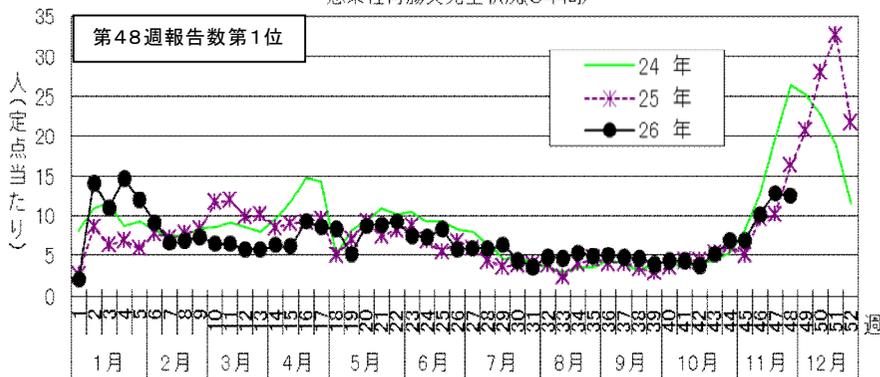
KAWASAKI CITY



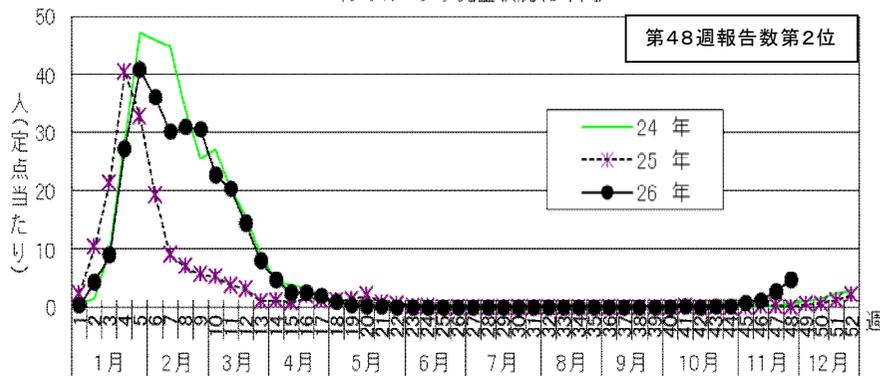
平成26年11月24日(月)～平成26年11月30日(日)〔平成26年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は12.52人と前週(12.85)からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.76人と前週(2.78)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.76人と前週(2.79)からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



## インフルエンザの勢い増す！！

全国的に、例年より1か月程早くインフルエンザの流行が開始していますが、川崎市においても11月上旬から患者報告数が増加しています。

11月中旬から市内小学校で学級閉鎖等が報告されており、患者検体を健康安全研究所で検査したところ、検出されたウイルスは全て「A香港型」でした。

### ～毎年流行しているウイルスの種類は？～

インフルエンザウイルスは、**A型**、**B型**、**C型**に大きく分類されます。このうち大きな流行の原因となるのはA型とB型です。

ここ数年、国内で流行しているウイルスは、2009年に流行した**A(H1N1)亜型**、**A(H3N2)亜型**(いわゆるA香港型)、**B型**の3種類ですが、今シーズンは**A(H3N2)亜型**(いわゆるA香港型)の割合が多くなっています。

これら3種類のウイルスは、毎年世界中で流行を繰り返していますが、流行するウイルス型や亜型の割合は、国や地域で、また、その年ごとにも異なります。

